

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成23年11月30日

計画の名称	1 中心市街地におけるにぎわい拠点の創出		
計画の期間	平成23年度	交付対象	伊賀市
計画の目標			

上野市駅前地区は、伊賀鉄道上野市駅の南方に位置する伊賀市中心市街地の玄関口にあたり、公共交通ターミナルに機能に加え、一帯は業務、商業施設が集積している地域である。しかし、築40年を経過する上野産業会館や商工会議所ビルをはじめ多くの建築物が老朽化しており、都市機能の更新が急務である。  
 本市では、平成20年11月に中心市街地活性化基本計画の認定を受け、本市の地域特性を生かした、人が暮らし、にぎわいのある魅力ある中心市街地形成のための取り組みを行っているところであるが、これを先導し、中心市街地のにぎわい創出への波及効果を生み出す事業として、当上野市駅前地区を第一種市街地再開発として整備することにより、商業・地域振興機能（商業施設、商工会議所等）や公共サービス機能（保健センター、男女共同参画センター）等の複合機能を備えた施設建築物（再開発ビル）を建設し、中心市街地におけるにぎわい拠点としての新たな顔づくりを行う。（※上野市駅前地区市街地再開発事業は平成17年度からの継続事業であり、下記交付対象事業については平成23年度完了予定。）

計画の成果目標（定量的指標）

- ・上野市駅前周辺地区における歩行者・自転車通行量を1,187人/日（H23当初）から1,670人/日（H23末）に増加

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値				備考		
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値	最終目標値 (H23末)				
	1,187 人	— 人	1,670 人				
市街地再開発事業区域付近の2箇所における歩行者及び自転車通行量を測定する。							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,232 百万円	A 999 百万円	B 0 百万円	C 233 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	18.9 %

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	再開発	一般	伊賀市	直接	伊賀市	上野市駅前地区第一種市街地再開発事業	施設建築物 延床面積 10,249.16㎡	伊賀市						999	都市・地域再生緊急促進事業による上乗せ交付金（143百万円）を含む。
合計													999		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	施設整備	一般	伊賀市	直接	伊賀市	保健センター整備事業	再開発ビル保留床取得 443.59 ㎡	伊賀市						161	
1-C-2	施設整備	一般	伊賀市	直接	伊賀市	男女共同参画センター整備事業	再開発ビル保留床取得 198.19 ㎡	伊賀市						72	
合計													233		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
1-C-1	上野市駅前地区第一種市街地再開発事業（1-A-1）の保留床を取得し、本市における保健福祉サービスの拠点整備を行う。													
1-C-2	上野市駅前地区第一種市街地再開発事業（1-A-1）の保留床を取得し、本市における男女共同参画社会実現のための活動拠点整備を行う。													